

阪南 6 区におけるアマモ養成活動の概要

○日 時 令和 8 年 3 月 22 日 (日) 13:00~15:30

○場 所 阪南 6 区 (大阪府貝塚市二色南町)

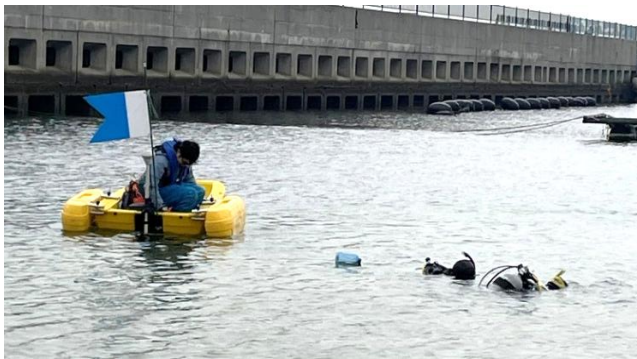
○参加者 8 名 (CIFER・コア 5 名、ダイバー 2 名、環境コンサルタント 1 名)

○概 要

CIFER・コアでは、沿岸生態系の保全に向けた取り組みの一環として、令和 7 年度より阪南 6 区ポンドにてアマモ場造成実験を行っています。本活動は失われつつある藻場の再生を目的としています。

3 月 22 日の活動では、スタッフが自宅で発芽・育成させたアマモ苗約 85 ポットを、ダイバーの手によって水深約 1m の海底へと慎重に移植しました。また、昨年 11 月に種を撒いて海底に沈めた播種シートからは多くのアマモが発芽・成長していたことも確認できました。さらに、3 月 22 日の午前阪南 2 区の干潟の潮下帯にもアマモ苗 8 ポットを移植しました。いずれも、使用した種子は、昨年 6 月に二色浜で採取した花枝を、貝塚市立自然遊学館や漁協のご協力のもと養生したものです。

また、移植と並行して周辺の海岸清掃も実施し、合計 7 袋分のプラスチックゴミを回収しました。地域の協力を得た苗が新たな生態系の基盤となってくれることを期待しています。



ダイバーがアマモポットを一つずつ海底に移植。当日は海水の透明度が高く潮が引いており、比較的作業がしやすい状況だった。



スタッフが発芽・育成したアマモポット
今年は例年に比べても発育が良かった。



スタッフ 4 名で海岸清掃を実施。7 袋分のごみを回収。



6 区の海域は生態系も豊かな様子で、
大きなハゼや赤クラゲも見られた。